

夢洲危険



万博会場で爆発濃度のメタンガス検知！ 一歩間違えば大惨事に！

◆毎日新聞(2025年4月7日)

万博会場でメタンガス検知
一時「着火すれば爆発しうる」濃度超

◆関西テレビ【速報】(2025年4月7日)

万博会場でメタンガス 過去に爆発や
パビリオンエリアでも検出
通報の市議「いのち吹き飛ばす恐れ」

◆朝日新聞(2025年4月7日)

開幕1週間前の万博会場で基準値超え
のメタンガス検知 爆発可能性も

◆読売新聞(2025年4月7日)

万博会場内でメタンガス検知引火すれば爆発の恐れ
…一時来場者の立ち入り規制



↑現場に駆け付けた消防署員。ガスマスク着用・ポンペを背負い重装備で作業(守口市・寺本健太市議会議員提供)

●万博会場・グリーンワールド工区で、爆発可能性のあるメタンガス検知

- ▶ 4月6日午後4時ごろ、万博会場内のグリーンワールド工区で爆発下限界の基準値を超えるメタンガスを検知したとの連絡が大阪市消防局に通報されました。此花消防署が現地へ向かい測定したところ、爆発の可能性がある濃度を超えるメタンガスが検知されました。
- ▶ この日、万博会場では「テストラン」と言われる開幕を想定した入場システムチェックのため数万人の市民が万博会場を訪れていました。万博協会は、午後4時25分にメタンガスが検知された周辺への来場者の立ち入りを禁止。ガスを抜くために電気設備地下ピットの蓋を開放して自然換気を実施し、午後5時28分に基準値以下になったことを確認して規制を解除。
- ▶ 万博開幕直前に、大惨事につながりかねない重大な事故が発生したのです。 【裏面に続く】

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>
大阪市城東区関目6丁目4-2-103 / Email stop-casino@vosakaf.net / 電話 090-8536-3170(山川)

●通報者は万博協会職員ではない 明らかになった杜撰な安全対策

▶ 通報者は「テストラン」に来ていた元消防士の大阪府守口市議会議員の寺本健太さん。昨年3月28日に、同地区でメタンガスによる爆発火災事故が発生したため、確認のため検査をしようとガス検知器を持参していました。寺本市議は、夢洲駅や会場内各地を視察しつつメタンガスの数値検査を実施したところ、午後3時半ごろに当該場所で基準値を超えるメタンガス濃度を検知。寺本市議は、「いのち輝くどころか、いのちが吹き飛ぶ恐れがある」と語りました。

▶ 問題は、数万人の市民を万博会場に招き入れる「テストラン」の当日、万博協会ではなく外部の人によって爆発の可能性のある高濃度メタンガスの検出が確認されたという事実です。万博協会は4月3日に「ガスは基準値未満で安全」と発表。

▶ 万博協会は、昨年ガス爆発火災事故を起こしたにも関わらずこれを軽視し、十分な安全対策を取っていませんでした。

どのような言い訳をしてもこの事実は変わりません。万博開幕期日に間に合わ



↑ 昨年3月のメタンガス爆発火災事故現場。コンクリートはめくれ上がり、破片が天井を貫く。鉄製の扉はひん曲がり、死傷者が出なかったことは奇跡。大事故であった。

せるため、労働者の安全対策も取らず突貫工事を進めてきたことも問題発生の要因です。「テストラン」に参加した市民に犠牲がなかったことを「奇跡」として終わらせてはなりません。約半年間の万博開催期間中も、夢洲ではメタンガス・硫化水素・一酸化炭素・アンモニアなど有毒ガスや可燃性ガスが発生し続けているのです。安全対策が何より大切。夢洲での万博開催は中止すべきです。

●問われる危険な「立ち入り禁止区域」を万博協会に貸した大阪市の責任

▶ 大阪市は万博の開催に伴い、メタンガスによるガス爆発火災事故を起こし、今回、爆発可能性のあるメタンガスが検知された市有地・夢洲1区を万博協会と「土地使用貸借契約」を締結して貸しています。

▶ 元々夢洲は、行政の位置づけでは「北港処分地」とされ、1区は、一般廃棄物・産業廃棄物を埋め立ており「立ち入り禁止区域」に指定されている場所です。PCBなど毒物も埋設され、浚渫土砂の埋め立てにより現在もメタンガスをはじめ一酸化炭素、硫化水素、アンモニアなど有毒ガスが発生し続けています。これは大阪市、大阪市港湾局、万博協会も認めています。

▶ 大阪市がこうした場所を万博協会に提供し、貸借契約を続けることは日本国憲法の基本的人権の尊重の理念に反し、第25条で定める生存権を侵害するものです。

▶ 私たち「夢洲カジノを止める大阪府民の会」は、3月7日、大阪市長に「夢洲1区GWエリアと駐車場部分の使用貸借についての質問と要請書」を大阪市に提出しました。その中で、汚染土壌での覆土の実態、ガス抜き管の現状、昨年のメタンガス爆発事故後の対応などについて見解を問い、契約の解除を求めました。しかしまだ回答は返ってきていません。4月2日には、「記者会見」を行い、同日、大阪市に対して危険な夢洲を万博協会に提供する「土地使用貸借契約」の解除を求める請願書を提出し、横山大阪市長への直接面談を申し入れています。

▶ 横山大阪市長は、万博協会の副会長を務めています。それ以前に大阪市の市長であるということに自覚しなければなりません。今回のメタンガス検出の様な事態を重視し、本来であれば万博協会に、完全な安全性が確認されるまで万博の開催を延期する等、厳しい措置を申し入れる

★知っていますか？ プロパンガス使用～万博遠足の危険性～★

万博協会は、メタンガスが検知された「グリーンワールド」エリアで、これまで食事提供事業者に「裸火使用厳禁」としていた要項を翻し、『プロパンガスの使用』を認めました。「安全対策」など口先だけ。自ら決めたルールさえ変えているのです。